

# 中期市政運営方針(暫定版)

〔平成26年度～29年度〕

平成26年3月  
久留米市

## 一人ひとりを大切に 安心、活力に満ちた久留米づくり

－ “日本一住みやすいまち・久留米” を目指して－

### 中期市政運営方針策定にあたって

この『中期市政運営方針』は、厳しい行財政環境の中で、久留米市新総合計画に掲げる基本理念「水と緑の人間都市」の実現へ向けて、より選択と集中を徹底した戦略性の発揮と、市民との協働による取り組みを進めていくための方針です。

現在、地方自治体は、本格的な人口減少・超高齢社会への突入をはじめ、グローバル化の進展や環境問題の深刻化、そして分権型社会への転換など時代潮流の大きな変化の中にあります。

久留米市はそのような時代の転換期にあつて、今後も人口30万人の県南の中核都市として、人々が集い、幸せに暮らせる魅力ある都市として持続的に発展していくことができるのか、将来を左右する極めて重要な時期を迎えています。

久留米市は、平成26年度で広域合併から丸10年を経過することとなりますが、これまで、中核市への移行、九州新幹線久留米駅の開業、そして久留米シティプラザの整備をはじめとした様々な都市基盤の整備に取り組み、市勢発展の可能性を高めてきました。

今後、これらの可能性を最大限に引き出し、市民が誇りと愛着を持ち、住み続けたいと思える都市として持続的な発展に結びつけなければなりません。

そうした認識のもとで、これからの市政運営においては、この中期市政運営方針に基づき、市民の皆様との協働のもとで、「一人ひとりを大切に 安心、活力に満ちた久留米づくり」を進めていきます。

なお、この中期市政運営方針は、総論及び各論で構成することとしますが、「久留米市新総合計画 次期基本計画」策定の進捗状況等を踏まえ、6月を目途に平成26年度の取り組みを含めた再整理を行ったうえで、27年度から29年度までの取り組みを含めた最終版を平成27年3月を目途に策定する予定としています。

## 総論

### 1 基本方針

#### (1) 基本姿勢

自治体の使命である「住民の福祉の増進」を市政運営の基本姿勢として、市民一人ひとりが人らしく心豊かに生きられるまち、安心安全に暮らせるまち、そして活力あるまち、すなわち「一人ひとりを大切に 安心、活力に満ちた久留米づくり」を進めていきます。

#### (2) 基本的視点(三つのキーワード)

そのような久留米づくりにあたっては、「人」「安心」「活力」の三つのキーワードを基本的視点として取り組みます。

- 「人」 … [一人ひとりを大切にした人本位のまちづくり]
- 「安心」 … [みんなが安全に安心して暮らせるまちづくり]
- 「活力」 … [県南の中核都市にふさわしい活力、賑わいづくり]

#### (3) まちづくりの目標

久留米市が将来に向かって持続的に発展していくため、市民がこの地に誇りと愛着を持って住み続けたいと思えるまちづくりを基本目標とします。

恵まれた自然環境、充実した都市機能、素晴らしい地域資源にさらに磨きをかけ、「日本一住みやすいまち・久留米」を目指します。

そして、総合的なまちづくりの取り組みのもとで本方針期間中の平成29年度まで、人口30万人を維持することを目標とします。

#### (4) 市政運営の基本的態度

「日本一住みやすいまち・久留米」を目指していくには、これまで以上に市民、地域、団体など地域の力を結集する必要があります。

「協働によるまちづくり」を市政運営の基本的態度として、丁寧な情報発信や双方向の情報共有化に取り組み、協働のまちづくりに理解、参画いただきながら具体的な取り組みを進めます。

### 2 これからのまちづくりの視点

これから、「日本一住みやすいまち・久留米」づくりを進めるにあたって、以下の視点を中心に据えて取り組みを進めていきます。

#### ○超高齢社会など時代を見据えた都市づくり

これから日本は人口減少・超高齢社会が一層進んでいきます。

長期的には人口減少が避けられないことを前提として、都市の低炭素化な

ど世界的な課題にも対応した効率的で持続可能な都市づくりが求められます。また、人口構造の急激な変化をできるだけ抑制することも必要です。

人口減少・超高齢社会という時代潮流や低炭素社会の構築という時代の要請を見据え、将来に対応できる都市空間づくりと、超高齢社会を乗り切る社会の仕組みづくり、そして未来を担う人づくりを進めます。

### ○幸せを実感できるまちづくり

人生 80 年時代となる一方で、不安社会とも言われるように、健康や事故、災害、犯罪などに不安を抱える人が多くなっています。幸せを実感できる地域社会であるためには、まず、毎日を不安なく過ごせるまちであること。そして物の豊かさだけでなく、心豊かに暮らせるまちであることも大きな要素となります。

一人ひとりの人権が尊重される地域づくり、健康で安心して暮らせるまちづくり、安全に暮らせるまちづくり、そして文化芸術やスポーツを活かしたまちづくりを進めます。

### ○持続可能な地域社会づくり

日本の総人口が減少する中で、久留米市が持続的に発展していくためには、まず、人々がこの地に暮らす基盤となる地域経済の振興と若者の雇用の安定にもつながるような雇用の場を確保することが不可欠です。また、福岡県南の中核都市として、活力を生み続けるには、人々を引き付ける魅力や機能を磨き、広域求心力を高めることが重要です。

久留米市の特長を活かした農商工業の元気づくりや久留米シティプラザをはじめとして、久留米市のポテンシャルを活かした広域求心力づくりを進めます。

## 3 重点施策

基本方針及びこれからのまちづくりの視点に基づき、次の施策を重点施策として積極的に推進します。

### (1) **超高齢社会など時代を見据えた都市づくり**

#### ① 超高齢社会に対応した都市づくり

- 中心拠点に久留米シティプラザを核とした質の高い文化芸術や広域的な交流機能などの高度な都市機能と都市型住宅を効率的に集積する一方で、日常の生活圏の中心となる個性ある地域の生活拠点の振興を図ります。

また、拠点間の連携を強化するため公共交通や幹線道路の整備を図り、ネットワーク型のコンパクトな都市づくりを進めることで、市域内の均衡ある発展と水と緑と共生する都市空間の整備を進めます。

○ 老老介護や高齢者の社会的孤立など、深刻化する社会的問題を、行政の公助や高齢者自らの自助努力だけで乗り切ることは困難であり、地域でお互いに支え合う、共助の仕組みづくりに取り組みます。

また、高齢者の生きがいや活躍の場、交流の場づくりなど、高齢者の社会参加の促進を図りつつ、買物や通院など日常生活に困らないよう、交通対策をはじめ生活支援策の導入を図ります。

## ② 未来を担う人づくり

待機児童ゼロに向けた対策をはじめ、子育て支援の更なる充実と、子どもたちの「生きる力」を育む豊かな心の涵養や学力向上、不登校対策、いじめゼロ対策に取り組みます。

さらに、そのような取り組みの中に、地域全体で子育てを支え、子どもや保護者を見守り、寄り添っていく仕組みを構築するなど、総合的に全国トップクラスの子育てしやすいまちを目指します。

## (2) **幸せを実感できるまちづくり**

### ① 人権の尊重、男女共同参画のまちづくり

一人ひとりの市民が人権意識を高め、互いの個性を尊重し合い、相手を理解して共に生きる社会の形成を進めるとともに、差別事件や虐待事件等から市民の人権を擁護する対策に積極的に取り組みます。

また、男女共同参画社会の実現に向けて、女性の市政への参画をはじめ、地域活動における男女共同参画の促進、農業を始め各分野における女性の人材育成、女性の就労支援、DV対策の充実などに取り組みます。

### ② 健康で安心して暮らせるまちづくり

市民一人ひとりの心身の状況に応じた健康づくりを地域や関係団体等と連携しながら、保健、医療、福祉など、様々な面から充実し、健康寿命の延伸に取り組みます。

また、介護や生活支援、各種相談など生活に密着した保健、福祉を充実し、高齢者や障害者など誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

### ③ 安全に暮らせるまちづくり

交通安全、子どもの安全、高齢者の安全、犯罪・暴力の予防、自殺予防、防災を重点6分野としたセーフコミュニティによる国際基準の安全・安心のまちづくりをソフト・ハードの両面から市民との協働で進めます。また、東日本大震災や九州北部豪雨を教訓に、災害に強いインフラ整備を進めます。

環境問題への対応としては、水質保全へ向けた広域的対策の充実や、北部一般廃棄物処理施設の整備を着実に進めます。

### ④ 文化芸術、スポーツを活かしたまちづくり

久留米シティプラザを最大限に活用して、音楽や演劇、展覧会などの楽しみを創り出しながら、市民が主役になった文化芸術活動の支援を進めていきます。また、音楽を活かして人とまちを元気にするような音楽があふれるまちづくりを進めます。

スポーツの振興に向けては、総合スポーツセンターの整備や身近な運動の場の整備などに取り組みながら、生涯を通じた健康づくりなど市民スポーツの振興に取り組みます。

## (3) **持続可能な地域社会づくり**

### ① 特長を活かした地域産業の元気づくり

既存産業の技術革新、高付加価値化や新産業の創出、農商工連携を進めるとともに、アジアへの販路開拓の支援など、農商工業の元気づくりに取り組みます。また、自動車関連産業など戦略的企業誘致を一層推進するとともに、その受け皿となる新しい産業団地の整備計画づくりに取り組みます。

農業については、収益性の高い農業経営の実現を支援し、若者にとっても職業として選択できる魅力ある農業の実現を図るとともに、地域との協働による「みどりの里づくり」を積極的に展開します。

### ② 広域求心力づくり

久留米シティプラザをはじめとした都心部の様々な都市空間を活用し、

人々が良質な刺激を与え合う都市型の交流拠点づくりを推進します。

また、歴史、文化、自然など地域ごとに様々な個性的魅力を持つ久留米市のポテンシャルを活かした地域密着観光やアジアからの観光客誘致などを戦略的に展開し、観光・交流都市としての飛躍を目指します。

#### (4) **大規模プロジェクト事業の推進**

##### ① **久留米シティプラザ事業の推進**

###### ○ **久留米シティプラザオープンに向けて**

平成28年の開業に向け、様々な媒体を活用した情報発信やプレ事業の質・量の充実等により、市民の期待感を高めていきます。市民の方々が誇りと愛着を持つ施設とするために、これらの事業実施や開館記念事業、開館後の事業運営に向け、多くの市民の方々に具体的な形で活動参加いただけるよう、市民や文化団体をはじめ関係団体との連携強化や活動支援に積極的に取り組んでいきます。

また、開館後の相乗効果を見据え、「音楽によるまちづくり推進事業」により、音楽イベントや音楽アーティストの育成・支援を進めていきます。

さらに、関係団体と協力し、早期の情報収集と営業活動による学会等のコンベンション誘致に取り組んでいきます。

###### ○ **久留米シティプラザ開業後の展開**

早期に対外的な評価を確固たるものとするため、開館記念事業において新たな文化や賑わいなどを創造していく施設のイメージを印象づける内容を展開します。

そして、市民の方々へ上質な文化芸術の鑑賞機会を提供するほか、将来を担う子どもたちの感性や情操、個性、創造性を育む事業や市民や文化芸術団体を育成支援する事業など全国に発信できる先進的な取り組みを展開します。

さらに、商店街等との連携やアフターコンベンションの充実等により、久留米シティプラザの開業効果を地域活性化に繋げる取り組みを推進します。

##### ② **セーフコミュニティの推進**

市民や関係機関・団体との連携のもと、6つの重点分野を中心とした

協働の取り組みをより一層推進するとともに、学校施設などの公共施設や通学路の安全性向上、防犯カメラの設置など、安全で安心して暮らせる環境づくりを進めます。

また、国際認証・セーフコミュニティの様々な活動事例や効果に関する広報・啓発を充実し、その理念のさらなる浸透と、実践に取り組む地域や団体の拡大につなげていきます。

さらに、けがや事故に関するデータや成果指標の達成状況をもとに、個々の活動の効果を検証し、その改善を行うなど、安全・安心に関する取り組みの質を高めていきます。

### ③ 総合スポーツセンターの再整備

スポーツ振興の基盤となる市民スポーツの充実と競技スポーツの支援を図るため、県と連携して総合スポーツセンター内の県立体育館と市立の武道館・弓道場の一体的改築による総合的な体育館の整備に取り組みます。また、総合スポーツセンターの整備を契機としたスポーツコンベンションの振興による地域活性化に取り組みます。併せて、県等と連携し、2020年東京オリンピック開催を見据え、キャンプ地誘致など開催効果を引き込む取り組みを進めます。

## 4 行財政運営

### (1) 基本姿勢

#### ① 財政運営〔積極的施策展開と健全財政の両立〕

現在の久留米市の財政状況は負債の少ない健全財政となっていますが、平成27年度からは地方交付税算定の特例である「合併算定替」が段階的に縮減されることとなります。

これからも、市民生活の向上、地域の浮揚に必要な施策は将来を見据えて積極的に展開しつつ、事業の選択と集中や、行財政改革の徹底などに取り組み、積極的施策展開と健全財政の両立を図ります。

#### ② 組織運営〔迅速性と的確性の両立〕

地方分権が進む中では、時代と地域の実情に合った政策を地域自らが考え、

判断し、時機を失することなく実行できるかが地域の将来を大きく左右することとなります。「迅速性と的確性の両立」を組織運営の基本姿勢として、職員の資質向上と組織運営体制の整備を進めます。

### ③ 人材育成〔高い志を持った職員の育成〕

迅速性と的確性を両立し、より質の高い行政を進めるため、職員一人ひとりが地方分権を担う行政の専門集団であるという自覚と誇りを持ち、魅力ある政策形成と、情報発信等の能力向上を図りながら、「考える職員、行動する職員」となることで「日本一住みやすいまち」の実現を目指します。

#### 【久留米市職員に求めるもの】

- 一 久留米市に高い誇りと深い愛情を持つこと
- 二 あらゆる場合において、市民の立場に立って物事を考えること
- 三 自らが地域に貢献する意識をもち行動すること
- 四 さらなる政策形成能力の向上のため、日々、自己研鑽に取り組むこと

## (2) **重点的取り組み**

### ① 行財政改革の推進

様々な取り組みに知恵を絞りながら、財源の効率化、税源の涵養など財政構造の改善につながる工夫や、公共施設管理の最適化などに取り組みます。

### ② 総合調整機能の強化

多面的に捉えなければならない課題や組織横断的な課題が増加しており、行政分野別の縦割りではなく、各部門が市民の立場で考え、連携する総合行政の展開が強く求められており、引き続き総合調整機能の強化と各部・各課間の連携を進めます。

### ③ 考える職員、行動する職員の育成

市政運営の基本的態度は「協働によるまちづくり」であり、様々な施策の推進にあたって、市民との協働を基本とした取り組みが不可欠です。市民と行政が協働する地域社会を築いていくため、市職員自身が職員としての役割を自覚し、地域社会づくりに活発に参画していくことを促進します。